

東京都にある村 檜原村は緑がいっぱい



東京都のもっとも西に位置し、山梨県に接する檜原村。村の面積の約93%が森林で、その森林がCO₂を吸収し、多くの酸素を供給しています。

木質バイオマスでCO₂削減 薪を温泉施設の燃料に

薪のような木から生み出される資源（木質バイオマス）を燃料とした場合、石油や石炭よりもCO₂排出量が少ないため、檜原村では薪を積極的に利用する取り組みを進めています。2010年、村に薪燃料製造施設をつくり、森林を管理している人たちから、間伐材や自然に倒れた木など、木材として使えない木をここで買い取るようにしました。施設ではその木材から長さ40cmの薪をつくり、村の公共温泉施設「数馬の湯」の温泉をあたためる燃料としています。今後はつくられる薪の量を増やし、ほかの施設や家庭に薪ボイラーや薪ストーブを広めていきます。



村と都市とが助け合う カーボン・オフセットで 森をもっと元気に

都市部など、CO₂排出量が多くどうしても減らせない場所では、ほかの場所で減らしたCO₂排出量をクレジット（排出権）として買い取り、うめあわせる方法（カーボン・オフセット）がとられています。檜原村では薪を燃料とすることによって減らしたCO₂排出量をクレジット化して、都市部の自治体や企業などに提供することを計画中です。クレジットの提供で得られる利益は、檜原村の森林管理や薪の製造などにあてられます。この流れによって、多くの方の環境意識を高めることができ、檜原村の森と経済も発展することが期待されます。クレジットは2013年4月より販売を始める予定です。

